

はじめに

令和元年東日本台風災害により、犠牲となられました方々に改めて哀悼の意を表しますとともに、被災された多くの皆様に心からお見舞いを申し上げます。

市内に初めてとなる大雨特別警報が発表される中、記録的な大雨により、市内長沼地区穂保地先において千曲川の堤防が決壊するとともに、各地で越水や内水氾濫が起こり、大規模な浸水被害が発生しました。また、土砂崩れや倒木被害のほか、長期間の停電や上下水道などの社会インフラも被災し、広く市民生活や経済活動に影響が及び、災害救助法の適用や激甚災害の指定などを受ける甚大な災害となりました。

こうした中、災害発生直後から、自衛隊・警察をはじめ、国・県、全国の自治体等の関係機関、各種団体や企業からのご支援を賜り、更には全国の皆様からのボランティア活動、義援金など、様々な温かいご支援をお寄せいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

市では、被災された皆様が一日も早く被災前の当たり前の日常を取り戻していただき、仮住まいをされている方々も自宅に戻り、安心して暮らしていただけますよう、将来にわたり住み続けられる安全・安心のまちづくりに取り組んでまいりたいと考えております。

このため、本市の復旧・復興を迅速かつ確実に進めるための道筋をお示しする「長野市災害復興計画」を策定いたしました。策定に当たっては、地域の代表や有識者の皆様をはじめ、市議会との意見交換、地区別意見交換会、住民意向調査、パブリックコメントなど、多くの皆様からいただきました貴重なご意見を踏まえて検討を進めるとともに、市民の皆様が最も心配されている治水の安全対策や各種施策について、方向性や取組期間を記載するなど、現時点でできる限り実効性のある計画となるよう心掛けてまいりました。

今後、本計画に基づき、行政・住民・事業者・各種団体等の皆様と連携して進めるとともに、この未曾有の災害に負けることなく、これまで以上に強く活力のある長野市となるよう、全市的な復興と更なる発展に向けて、全力で取り組んでまいります。

最後に、本計画の策定に当たり、ご尽力をいただきました長野市災害復興計画検討委員会、国・県等の関係機関の皆様をはじめ、多くの皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、引き続き早期復旧・復興に向けて、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年4月

長野市長 加藤久雄

目次

第1章 令和元年東日本台風災害の概要及び被害の状況	1
1 令和元年東日本台風の概要	1
2 被害の状況	8
3 主な応急・復旧、被災者支援の取組状況	12
第2章 計画の基本的な考え方	22
1 計画策定の趣旨	22
2 計画の対象地域	22
3 計画の位置付け	22
4 計画の期間	22
5 計画の策定及び構成	23
第3章 復興に向けた基本理念・基本方針	24
1 基本理念（将来像）	24
2 基本方針	24
第4章 復興に向けた施策・主な取組	25
基本方針1 安全・安心の再生	26
1-1 市民生活の再建	26
1-1-1 被災者の生活支援対策	27
1-1-2 住まいの確保・再建支援	30
1-1-3 地域コミュニティの再構築・育成	32
1-2 生活基盤の再建	34
1-2-1 生活インフラ・ライフライン等の整備	34
1-2-2 公的サービス等の復旧・機能回復	36
1-3 防災力の向上	38
1-3-1 治水・治山対策	39
1-3-2 防災・減災に向けた都市基盤の強化	45
1-3-3 地域の防災・減災体制の強化	46
1-3-4 行政の災害対応力の強化	48
基本方針2 生業（なりわい）の再生	50
2-1 産業基盤の再建	50
2-1-1 農林業の再建	50

2-1-2	商工業の再建	51
2-2	産業・経済の振興	53
2-2-1	農林業の振興	53
2-2-2	商工業の振興	55
2-2-3	雇用機会の確保	56
基本方針3	賑（にぎ）わいの再生	57
3-1	活力の創出	57
3-1-1	移住・定住促進	58
3-1-2	復興応援事業	60
3-1-3	シティプロモーション	62
3-1-4	近隣市町村との連携促進	63
3-2	産業の高付加価値化	64
3-2-1	観光産業の革新・成長	64
3-2-2	新たな産業の創出	65
第5章	地区別計画	67
1	長沼地区	67
2	豊野地区	76
3	古里地区	86
4	篠ノ井地区	93
5	松代地区	101
6	若穂地区	110
第6章	計画の推進	118
1	計画の推進体制	118
2	計画の進捗管理	119
【資料編】		121
1	策定経過	122
2	長野市 復旧・復興方針	126
3	長野市災害復興計画検討委員会	130
4	市民参画	132
5	過去の主な水害の状況	159
6	用語の解説	164